

H03 電子回路

H03B 振動の発生、直接のまたは周波数変換による振動の発生、スイッチング動作を行なわない能動素子を用いた回路による振動の発生；このような回路による雑音の発生（電気機械的手段による楽器に特別に適合する発生器 G10H；メ - ザまたはレ - ザ H01S；プラズマにおける振動の発生 H05H）

サブクラス内の索引

周波数変換によらない発生
増巾と帰還による手段；負性抵抗..... 5/00;7/00
電子走行時間による手段；電子ビ - ム管 9/00;13/00
衝撃励振によるもの；ホ - ル効果；放射源と検出器の組み合わせ..... 11/00;15/00;17/00
周波数変換による発生
信号の通倍または通降によるもの..... 19/00
非変調信号の結合によるもの..... 21/00
発生した振動の特殊性
周波数範囲の掃引；多重周波数；多重位相；雑音
23/00;25/00;27/00;29/00
その他の発生方法..... 28/00
細部..... 1/00

- | | |
|------|---|
| 1/00 | 細部 |
| B | 監視に関するもの |
| D | 調整に関するもの |
| E | 構造に関するもの |
| Z | その他のもの |
| 1/02 | ・電力発振器、例・加熱用発振器、の構造上の細部（電磁界による加熱のための発生器 H05B6/00） |
| 1/04 | ・不要発振、例・高調波、の低減 |
| 5/00 | 出力から入力への再生帰還による増幅器を用いた振動の発生（H03B9/00,H03B15/00 が優先） |
| A | 帰還路に熱、光等を利用する手段を挿入したもの |
| B | 位相の異なる複数の帰還信号を合成し、周波数を決定するもの |
| Z | その他のもの |
| 5/02 | ・細部 |
| A | 他の機能を持たせるための発振器の変形 |
| B | 機械的構造に特徴があるもの |
| C | 二つ以上の発振回路方式の組合せに特徴があるもの |
| D | 出力回路に特徴があるもの |
| Z | その他のもの |
| 5/04 | ・物理的な値、例・電源、負荷、温度、の変化を補償するための発振器の変形 |
| A | 負荷の変化を補償するためのもの |
| B | 温度の変化を補償するためのもの |
| C | ・LC 発振器の変形 |
| D | ・分布定数発振器の変形 |
| E | ・CR 又は LR 発振器の変形 |
| F | ・電気機械的振動子を用いた発振器の変形 |
| G | 電源の変化を補償するためのもの |
| Z | その他のもの |
| 5/06 | ・発振の起動を確実にするための発振器の変形（発生器の起動 H03L3/00） |

- | | |
|------|---|
| 5/08 | ・周波数決定素子が集中定数インダクタンスと集中定数キャパシタンスとからなるもの |
| A | 発振出力周波数を可変、調整する構成に特徴があるもの |
| B | 発振出力振幅を可変、調整する構成に特徴があるもの |
| C | 用途に応じた発振器の変形に特徴があるもの |
| Z | その他のもの |
| 5/10 | ・増幅器の能動素子が真空管であるもの（H03B5/14 が優先） |
| 5/12 | ・増幅器の能動素子が半導体装置であるもの（H03B5/14,H03B7/06 が優先） |
| A | トランジスタを複数個用いるもの |
| B | ・差動増幅器を用いるもの |
| C | FET を 1 個用いるもの |
| D | バイポーラトランジスタを 1 個用いるもの |
| E | ・発振出力周波数を可変、調整する構成に特徴があるもの |
| G | ・電圧制御可変容量素子を用いるもの |
| F | ・発振出力振幅を可変、調整する構成に特徴があるもの |
| Z | その他のもの |
| 5/14 | ・周波数決定素子がブリッジ回路を経て信号が伝送される閉ループに結合されているもの |
| 5/16 | ・増幅器の能動素子が真空管であるもの |
| 5/18 | ・周波数決定素子が分布定数インダクタンスと分布定数キャパシタンスとからなるもの |
| A | 同軸共振器を用いるもの |
| B | 空洞共振器を用いるもの |
| C | ストリップ線路共振器を用いるもの |
| D | 誘電体共振器を用いるもの |
| E | 強磁性体材料を用いるもの |
| Z | その他のもの |
| 5/20 | ・周波数決定素子が抵抗とキャパシタンスまたはインダクタンスのいずれか一方とからなるもの、例・位相発振器 |
| A | 発振出力周波数を可変、調整する構成に特徴があるもの |
| B | 発振出力振幅を可変、調整する構成に特徴があるもの |
| Z | その他のもの |
| 5/22 | ・増幅器の能動素子が真空管であるもの（H03B5/26 が優先） |
| 5/24 | ・増幅器の能動素子が半導体装置であるもの（H03B5/26 が優先） |
| 5/26 | ・周波数決定素子が、信号が伝送される閉ループ中のブリッジ回路の一部であるもの；周波数決定素子がブリッジ回路を経て、上記閉ループに結合されているもの、例・ウィーンブリッジ発振器、並列 T 型発振器 |
| A | 発振出力周波数を可変、調整する構成に特徴があるもの |
| B | 発振出力振幅を可変、調整する構成に特徴があるもの |
| Z | その他のもの |
| 5/28 | ・増幅器の能動素子が真空管であるもの |
| 5/30 | ・周波数決定素子が電気機械的振動子であるもの |

	A	弾性表面波発振器	11/04	・断続器により励振されるもの
	B	電気機械的制御発振器〔主に音叉振動子を使うもの〕	11/06	・機械的断続器によるもの
	C	・振幅の調整	11/08	・断続器が電子管であるもの
	D	・周波数の調整	11/10	・断続器が半導体装置であるもの
	E	・起動の調整	13/00	陰極線管中の電子ビームの偏向を用いた振動の発生
	F	・温度補償	15/00	電流磁気効果装置、例、ホー ル効果装置、スピントランスファ効果を用いた装置、巨大磁気抵抗を用いた装置、または超伝導効果を用いた振動の発生
	G	超音波発生装置		
	Z	その他のもの		
5/32		・圧電気振動子であるもの	17/00	放射源と検出器とを用いた振動の発生
	J	水晶発振器	19/00	別個の発生源からの信号周波数の非再生的、通倍または通降による振動の発生
	A	・温度補償	19/03	・非線形インダクタンスを用いるもの [3]
	B	・電子時計装置の温度補償		
	C	・振幅の調整	19/05	・非線形キャパシタンス、例、バラクタダイオード、を用いるもの [3]
	D	・起動・出力の調整	19/06	・2以上の電極をもつ電子管または半導体装置によるもの
	E	・発振周波数の調整	19/08	・電子管によるもの
	F	・複数振動子の切替によるもの	19/10	・通倍のみを用いるもの
	G	・オバートン、発振	19/12	・通降のみを用いるもの
	H	・構造	19/14	・半導体装置によるもの
	Z	その他のもの	19/16	・無制御の整流装置を用いるもの、例、整流ダイオードまたはショットキダイオードを用いるもの [3]
5/34		・増幅器の能動素子が真空管であるもの (H03B5/38 が優先)	19/18	・分布インダクタンスとキャパシタンスとを構成する素子をも用いるもの [3]
5/36		・増幅器の能動素子が半導体装置であるもの (H03B5/38 が優先)		
5/38		・周波数決定素子がブリッジ回路を経て信号が伝送される閉ループに結合されているもの	19/20	・ダイオードが電荷蓄積またはエンハンスメント効果を示すもの [3]
5/40		・磁気振動子であるもの (H03B5/42 が優先)	21/00	相異なる周波数の非変調信号を結合することによる振動の発生 (H03B19/00 が優先) [3]
5/42		・周波数決定素子がブリッジ回路を経て、信号が伝送される閉ループに結合されているもの	21/01	・相異なる周波数の非変調信号間のビートによるもの [3]
7/00		2つの電極間に負性抵抗をもつ能動素子を用いた振動の発生 (H03B9/00 が優先)	21/02	・複数回のビートによるもの、例、周波数合成用 [3]
7/02		・集中定数インダクタンスと集中定数キャパシタンスとからなる周波数決定素子を有するもの	21/04	・いくつかの似かよった段を用いるもの [3]
7/04		・能動素子が真空管であるもの	23/00	所定周波数範囲を周期的に掃引する振動の発生
7/06		・能動素子が半導体装置であるもの	25/00	1個の自励発振器による、相異なる複数個の周波数の同時発生
7/08		・トンネルダイオードであるもの	27/00	単なる逆相関係の2出力ではなくて、周波数等しく位相相異なる複数個の出力を与える振動の発生
7/10		・能動素子がガス放電管またはアーク放電管であるもの	28/00	正弦波振動を発生するために波形の変形を含み、かつ、波形の修正による正弦波状振動の発生を含み、グループ H03B5/00-H03B27/00 に包含されない方法による振動の発生 (計算動作を行うためのアナログ関数発生器 G06G7/26) [4]
7/12		・分布定数インダクタンスと分布定数キャパシタンスとからなる周波数決定素子を有するもの		
7/14		・能動素子が半導体装置であるもの	A	デジタル技術を用いる正弦波の発生
9/00		走行時間効果を用いた振動の発生 [2]	B	・メモリまたはメモリとカウンタを用いて振幅を決定するもの
9/01		・電子管を用いるもの [2]	C	・カウンタを用いて振幅を決定するもの
9/02		・遅延電磁界電子管を用いるもの (クライストロンを用いるもの H03B9/04) [2]	Z	その他のもの
9/04		・クライストロンを用いるもの [2]		
9/06		・反射型クライストロンを用いるもの [2]	29/00	雑音電流および雑音電圧の発生 (雑音発生器として特別に適合する固体陰極をもつガス入り電子管 H01J17/00)
9/08		・進行波管を用いるもの [2]		
9/10		・マグネトロンを用いるもの [2]		
9/12		・固体装置を用いるもの、例、ガン効果装置 [2]		
9/14		・分布インダクタンスとキャパシタンスとを構成する素子をも用いるもの [3]		
11/00		衝動励振同調回路を用いた振動の発生 (帰還をもつもの H03B5/00)		
11/02		・スパークにより励振されるもの		